

ぴあ・いろは通信 5月



○放課後等デイサービス 放課後クラブぴあ ○児童発達支援 療育ルームいろは

《お問合せ》TEL 33-4860 fax 33-4861 (ぴあ内)

だんだん暖かくなり、過ごしやすくなってきました。外と室内の差が出やすくなってきています(室内の方が暑くなることが多いです…)。来所の際は、半そでに1枚はおるなど、調整のしやすい服装をお勧めします。

☆サポートファイルについて

今回はサポートファイル「にっこにこ」について紹介します。



新居浜市在住で困り感のある児童に対して(0歳～18歳まで)保護者と関係機関が一緒になって支援していくため新居浜市子ども発達支援センターで作成しているファイルです。

進学や就労にあたって、「きちんと理解してもらえるか不安」、「これまでの支援の方法や関わり方を続けてほしい」等の不安や要望を記録として作成し、引き継ぐことで、次の新しい環境でも安心して過ごすことができます。ご希望の方は、新居浜市子ども発達支援センターまでご連絡ください

<http://www.city.niihama.lg.jp/>

☆個別支援会議について

個別支援会議とは、園や学校、家庭でお子さんが困っている様子があつたり、生活全般で統一した支援を行いたい場合は色々な機関と連携して支援を受けることができます。



新居浜市発達支援課や福祉機関等の関係する人達と一緒に集まり、1人1人の支援についてできること、困っていること、工夫してできること等の確認や情報共有を行い、今後の支援内容を考えていきます。

普段利用している機関と家庭・園・学校とが連携することができます。まずは、新居浜市子ども発達支援センターにご相談ください。

☆学校行事の支援

春に運動会や修学旅行、宿泊体験などの行事を行う園や学校が増えています。また、行事は日常の活動との違いが多く見通しが持ちにくくなることも多いです。ここでは学校行事に必要な支援についていくつか紹介します。

- ①事前に参加の仕方を決めることで、子どもが可能な範囲で参加して成功体験に繋げる。
- ②いつ・どこで・何をするのか・いつ終わるのかを分かる形で明確に伝える。
- ③感覚の特異性に配慮する。聴覚・視覚・触覚等の過敏を知り、耳栓、イヤマフ、サングラス等グッズを使う。
- ④大きな混乱の前に休憩できるスペースや安心グッズを用意する。

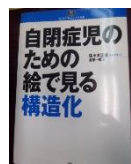
お子さんの特性や配慮事項については、保護者から積極的に担任の先生に伝えましょう。



☆本紹介

『自閉症児のための絵で見る構造化』

著/佐々木正美



本書は自閉症児が自分を取り巻いている世界や情報を理解して、安心して自主的に行動しふるまい、学習や生活することができるようにするためには、どうしたらいいのか、TEACCHプログラムによる構造化の実際がイラストで示されていてわかりやすいです。学校や家庭の構造化のヒントになる一冊です。

【ぴあ】

- カップケーキ作り 6月5日(月)～10日(土)
- わなげ大会 6月19日(月)～24日(土)

6月の行事予定

【いろは】

- ミニサンド作り 6月



★ゆいねっと新居浜 HP 内「ゆいねっと BLOG」にて、ぴあでの活動の様子を更新中です

<http://yuinet-niihama.com/>